

市民オンブズマンわかやま

ニュース NO81

発行責任者 畑中 正好 発行日 2010年9月13日
連絡先 和歌山市十二番丁10番地 和歌山合同法律事務所内
TEL 073-433-2241 FAX 073-433-2767
http://www.naxnet.or.jp/~wa_obz/ Eメール wa_obz@naxnet.or.jp

県施設失念交付金徴収漏れ問題

知事らに損害賠償を求め住民監査請求

外部監査で失念と損害判明

私達は、ビック愛に関し計約1億7848万円、県労働センターに関し計約2078万円の失念交付金相当損害金について、仁坂吉伸知事らに対し、損害賠償請求するよう勧告を求めた住民監査請求をそれぞれ8月6日と12日に行いました。

仁坂知事らに損害賠償請求するよう勧告を求めた住民監査請求は、県が、県の施設を県以外の方に貸し付けている場合に、貸付部分の固定資産相当額を施設が所在する市町村に対して

交付すべきことを失念していたため、それを血税で負担しているとの指摘でしたが、その後県は、利用者

に負担を求めていないことから、今年度分までの計約1億7848万円が血税で負担し県の損害となっていました。

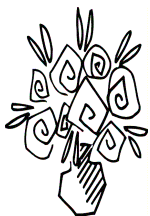
私達は、この4月、損害の回復を求め、仁坂知事に対し公開質問を行いました。回答はあったものの誠意ある回答ではなく、このままでは是正されないと考え、住民監査請求に至ったものです。

住民監査請求の監査人について、通常の監査人ではなく外部監査人によることを求めましたが、採用されませんでした。包括外部監査で指摘された県の損害が、通常の監査人が見過ごしてきたのであることからすれば、通常の監査人は信頼に値せず、採用しなかったことは批難に値します。



とは、08年に交付漏れがあるのではないかとする和歌山市の指摘によって判明。この指摘は、ビック愛を外部監査し今年4月に公表された監査結果により明らかになりました。

その外部監査では、ビック愛の交付金が、2078万円でした。



の時代」が終わりつつあるからだろうとしました。和歌山でも訴訟を行っていましたが、議員40人分の領収証のチエックが大変だと事務局長がぼやいていたことを思いだし、なるほどと思いました。また、これを機に「政務調査費訴訟のヨコの連携」をつくろうと提起されました。

は認められない」とする大阪高裁の判決がこの4月27日にあつたとのことですが、9月4日で月給をくれるような民間企業は、全国どこにもあり得ず、常識をまったく知らないひどい判決だ。当会においても県と和歌山市の調査を進めていますが、結果が同じような実態にあるのだからと思うと、怒りが沸いてきました。

オンブズマン活動にがんばらねばと背中を押してくれる大会でした。

行政委員月額報酬問題では、殆どの都道府県が、月給制を採用し、出席率の悪い行政委員にも、一律支給する結果、例えば、仙台市選挙管理委員の時給が17万3658円、福島県海区漁業調整委員の時給が158万6600円になるという驚くべきことが報告されました。「9月4日の出勤であれば、月給制を認めたとしても、議会の裁量逸脱と

9月にもかわらず、茹だるような暑さの中を、老体に言い聞かせてどうにか参加しましたが、まだまだ、



全国市民オンブズ(マン)

第十七回 北陸・富山大会に参加して

阪谷 昇良

「越中八尾 おはらの風の盆」祭りの賑わいがさめやらぬ翌日からの9月4、5日の二日間、北陸・富山市で第17回全国市民オンブズ全国大会が開催されました。



の表彰が行われました。

予算編成過程の報告では、

その透明度ランキングが、

今回が初めての取り組みだと強調します。公表の義務

のある予算書や予算説明書をみただけでは、予算に

関する意見をもつことは難しい。その予算案がどこまで

わかりやすく説明されているか、また、これに意見を

述べる機会が保障されているかを各都道府県のホームページ上の情報を調査して

順位づけしたとのこと。その順位は、トップが鳥取県、

2位が長野県、3位が大阪府と、上位は、いわゆる「改革派」を自認する知事の県

が占めていました。最下位が岐阜県。我が県は、なんとその岐阜に続くワースト

2でした。全国情報公開度ランキング

は、1997年以来毎年行われてきました。今回、

全市を調査し、各道府県の平均公開度をもとにした

順位づけが行われました。その一位は神奈川県、最下

位は鹿児島県でした。和歌山県は41位と、最後から数

えた方が早い順位でした。以前には、上位に連ねたこ

ともある当県ですが、現在の仁坂知事になってからは、

情報公開に余り熱心ではないようで淋しく感じます。

政務調査費の調査報告は、

全国で提起されている政務調査費訴訟をまとめたとし

て、その結果が報告されました。それによれば、訴訟

は、幾分か下火になったよう

うだと言います。原因として、「全領収書開示」の場合

の分析・訴訟追行が大変であり、また、「アホーな支出

「予算づくり、市民も参加がなかった大会に、わか

にした今大会は、従来のよ

うな著名人による講演がな

く、初日から議事が進めら

れました。それゆえ、報告

内容が豊富でした。

報告は、基調報告に続いて

「予算編成過程」の全体

報告、「全国情報公開度ラン

キング」の全体報告、政務

調査費調査のまとめ報告、

行政委員月額報酬問題報告

が順次行われた後、包括外

部監査のオンブズマン大賞

2でした。

全国情報公開度ランキン

グは、1997年以来毎年

予算編成の透明度全国ランキング

県透明度 ワースト2

予算編成過程が不透明 市民が意見を述べる機会がない

9月4、5日に富山において開催された第17回全国市民オンブズマン大会において、予算編成の透明度に関する全国ランキング公表されました。県の透明度は、28点の得点で、順位は、栃木県、千葉県、福岡県とともに最下位から2番目でした。予算編成過程のうち予算要求、予算査定に関する情報が掲載されていない、市民が予算案に意見を述べる機会がないとして、いずれも0点でした。

この調査は、予算への市民参加の機会を高めることを目的として行われ、各自治体におけるホームページの情報をもとに、予算編成過程の透明性と住民がこれに意見を述べる機会が保障されているかを調べて評価し・ランキング付けしたものです。

調査項目	調査項目は、決算に	調査項目は、決算に
関係して3項目、財務諸表に関して2項目、政策評価に関して3項目、予算編成過程で15項目、予算に関して4項目、	関係して3項目、財務諸表に関して2項目、政策評価に関して3項目、	関係して3項目、財務諸表に関して2項目、政策評価に関して3項目、

この結果、全国トップ

県の項目別獲得得点は、決算では、決算概要書のみの掲載で、決算書及び同説明書が掲載していないとして3点。財務諸表では、普通会計と連結会計ともに掲載されているとして6点。政策評価では、事務事業評価と公共事業評価が掲載されているが、政策評価（政策の目標が達成されたか）が掲載されていないとして9点。予算編成過程は、予算編成方針のみの掲載で、予算要求、予算査定が一切掲載されていないとして4点。予算は、予算

の概要及び主要事業が掲載されているが、予算書及び予算説明書が掲載されていないとして6点。市民が予算案に意見を述べる機会を設けているかは、意見を述べる機会がないとして0点でした。

当該ランキングを通じて、和歌山県は、予算案を分かりやすく市民に伝え、予算編成過程に市民の意見を反映させることが遅れていることが分かりました。是非、改善されることを求めます。



当面の予定

- 9月13日 PM 4:00 ~
ニュース発送作業日
- 9月22日 PM 6:00 ~
第3回全員会議
- 10月25日 PM 4:00 ~
編集会議
- 11月2日 AM 10:00 ~
県議政務調査費違法支出金返
還請求住民訴訟の裁判
- 11月15日 PM 4:00 ~
ニュース発送作業日
- 11月24日 PM 6:00 ~
第4回全員会議

裁判情報

県議・政務調査費違法 支出金返還請求住民 訴訟

裁判は、8月24日に行われま
した。今後の進行について、裁判
所から和解の提案があり、次回
に、裁判所からの和解案が示され
る予定です。

次回、11月2日午前10時から
です。

次回会員会議のご案内

日 時 9月22日(水)午後6時 ~

場 所 和歌山市勤労者総合センター
(和歌山市役所西隣 TEL 073-433-1800)

こぞってご参加下さい